

【水素自動車について】

(質問)

市議案第98号令和3年度豊中市一般会計補正予算第14号について伺います。
市有施設・機械器具等保守管理業務の債務負担行為補正のうち、環境政策課が計上されている補正額644万2千円の中に、保険契約(自動車等)とありますが、その詳細と金額を教えてください。

<答弁>

今年度導入する水素自動車にかかる全国市有物件災害共済会の自動車保険料で、金額は4万3千円です。

(質問)

水素自動車ミライは、今年度から環境部がリース契約で管理されることになっていたかと思いますが、今年度のこれまでの活用実績を教えてください。

<答弁>

水素自動車は、今年度まだ導入出来ておりません。今年8月に導入するべく事務を進めていましたが、半導体をはじめ部品の調達等が遅れているとのことで、現在のところ導入は年明けとなる見込みです。

(質問)

今年度、リース契約されたミライはまだ導入されていないとのことですが、あらためて、水素自動車をリース契約して導入する意義や目的について教えてください。また、来年度のミライの活用見込と事業の効果目標や目標数値があれば、教えてください。

<答弁>

本市には、大阪国際空港周辺に水素のチャージステーションがあり、運輸部門で今後の脱炭素化社会に有効と考え、当部所管の公用車として環境学習推進用に導入するものです。

当部での環境学習での活用は、小学校やこども園への出前授業やくるま大集合などのイベントで年間75回、その他で環境配慮検査などの業務で年間約100回、計175回の稼働を想定しています。また、全庁的にも市内の走行等で活用できるよう働きかけ、稼働率を上げることで、車両の電動化の周知啓発に努めていきたいと考えています。

(意見・要望)

今年度の予算審議の際には、公用車としての活用用途があるのか、市民への水素自動車の利用や購入促進等に繋がるのかといった質問や指摘をさせて頂きました。まだ、

導入されていないということで、環境部が仰る意義や目的が果たされるのか、また、市民への水素自動車に関する周知啓発に繋がるのか、事業の効果検証や課題の把握ができませんが、導入されたら、想定されている利活用策を図って頂きたいと思います。その上で、この事業を通して、脱炭素社会の推進がハード面、ソフト面両面で図られているか、環境学習の推進に寄与しているか、車両の電動化の周知啓発に繋がっているかなど、事業の効果検証を行って頂きたいとあらためて、要望しておきます。加えて、予算審議の際に、同じ会派の議員からも提案があったかと思いますが、水素自動車をただ見るだけでなく、試乗する機会を提供できないか、そうすることで、より一層、市民への水素自動車の周知啓発や関心度の向上につながると思いますので、ご検討頂きたいと要望しておきます。その手法として、ミライを試乗する権利をふるさと納税の返礼品にするといった、環境にも市の財政にもプラスとなる方策などもご検討頂きたいと要望しておきます。